

第一分科会 岩手県立盛岡第一高等学校 国語科 学習指導案

実施期日 平成十五年十月十七日(金) 実施クラス 理数科 二年八組(三十九名) 指導者 教諭 佐々木勝也

科目名 現代文 指導領域 読むこと 東京書籍

単元名 詩歌 教材名 「永訣の朝」 使用教科書

指導事項 詩に描かれた情景・心情などを表現に即して読み味わう。

単元の目標 詩歌における言葉のはたらきやそれぞれの作品の表現上の特色を理解し、鑑賞力を高める。

評価観点と 評価規準 「理解」・・・詩を読んで、表現の特色を捉えることが出来たか。また、ものの見方、感じ方、考え方を広めることが出来たか。

年間指導計画における位置づけ 感受性の最も豊かな時期に、小説『山月記』等(・評論)『ミロのヴィーナス』等(の学習で身につけた「読解力」)によって、感動の表現を的確に受け止める。

単元の指導計画 第一・二時・・・詩の制作された背景を理解させる。
第三時・・・作者のねらった表現上の効果を理解させる。
第四時・・・作者の世界観や、理想を考えさせる。(本時)

本時の目標 賢治の心象風景を再度確認し、彼の四次元にわたる作品展開を、「天上のアイスクリーム」と「兜率の天の食」との比較によって理解させる。

備考	本時の学習指導計画			評価の観点
	展開	導入	過程	
補助資料は別紙。 資料1「教科書コピー」、資料2「学習プリント」、資料3「自筆原稿」、資料4「初版本コピー」 資料5「花巻地図」、資料6「政次郎と賢治の論争の一面」、資料7「自筆手入れの例、手紙等」 資料8「明日への銀河鉄道を読んで」生徒感想文	「永訣の朝」の特質について理解する	「あめゆじゆとてちてけんじや」の読み方	前時指導事項の確認 「Ora Orade」について	・賢治の視点の自在さを理解できたか。 ・優れた朗読を味わうことができたか。
	・経験を浄化し、物事の本質のみを受け止めるこの詩を、「松の針」「無声慟哭」と比較して考えさせる。	・後半部を音読させる。 ・詩の最終部との関わりを示唆する	・「精神歌」の紹介 ・「銀河や太陽 気圏など」にあらわれている賢治の世界観(宇宙観)についての説明も加える。 ・谷口秀子さん朗読「永訣の朝」前半部を聞かせる。	・一斉読みをする。 ・視点の位置を考える。
・アイスクリームの補足説明をした後で、原稿・初版本と「手入れ本」の存在を教え、賢治の表現に対する飽くことのない熱意に触れさせる。「資糧」は「しりょう」と読むことを確認する。	・父政次郎さんとトシさんとの臨終の場での会話を紹介し、理解の一助とする。法華経(利他行)の特質についても触れる。 ・「グスコープドリの伝記」との関わりについて説明する。	・直後の「ほんたうに」を抛り所にして、この言葉の後では賢治の態度に変化が生じること(より厳肅な態度となる)を理解させる。	・「はげしいはげしい熱やあへぎのあひだから」発せられた言葉であることを理解する。	
・学習プリントの初発の感想を読む。 ・『明日への銀河鉄道』を読んでのプリントの紹介。 (指名による)	・トシの心情を踏まえ、この言葉を自分なりに音読する。 (指名による) ・作品内容の説明。 (指名による)	・学習プリント(別紙)で確認。 ・情景を思い浮かべながら音読する。 (指名による) ・該当箇所を抜き出す。	・「聴く者に心地よい」音読をしているか。 ・ローマ字書きの意味が理解できたか。 ・他作品への興味を喚起できたか。	
・この詩の凄さが理解できたか。	・自分の考えを正しく伝えられるか。 (その場に応じた話し方ができるか)	・逆縁の悲しみを理解できたか。 ・他作品への興味を喚起できたか。	・この詩の凄さが理解できたか。	

